

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中澤雄一
全体計画	平成28年度 ~ 平成32年度			経費区分	経常的経費			内線	3326		
事務事業名	4087 高齢者自立支援事業										
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課										
施 策	01020400 高齢者福祉の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030103 民生費・社会福祉費・高齢者対策費									
	事業	020000 高齢者自立支援事業									
事業目的						事業概要・効果					
高齢者が在宅で安心して生活できる支援と生きがい活動の支援。						高齢者を地域で見守り、安心して生活するための事業。また、家に閉じこもりがちな高齢者及び虚弱な高齢者に対し、仲間づくり等を通じて要介護状態への進行の防止を図る。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ハッピーエンド計画の取り組みとして、エンディングノートを作成し中央公民館と連携して活用講座を開催した。 地域の見守りを「見守り支援事業協力隊」の協力を得て行った。	地域の見守りを「見守り支援事業協力隊」の協力を得て行った。 ハッピーエンド計画の取り組みとして、中央公民館と連携してエンディングノート活用講座を3回開催した。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
生活指導、健康相談等を通して、ひとり暮らし高齢者等の健康づくりを増進した。 ハッピーエンド計画の取り組みとして、中央公民館と連携してエンディングノート活用講座を開催した。	生活指導、健康相談等を通して、ひとり暮らし高齢者等の健康づくりを増進する。 ハッピーエンド計画の取り組みとして、中央公民館と連携してエンディングノート活用講座を開催する。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
生活指導、健康相談等を通して、ひとり暮らし高齢者等の健康づくりを増進する。 ハッピーエンド計画の取り組みとして、中央公民館と連携してエンディングノート活用講座を開催する。	生活指導、健康相談等を通して、ひとり暮らし高齢者等の健康づくりを増進する。 ハッピーエンド計画の取り組みとして、中央公民館と連携してエンディングノート活用講座を開催する。

指標名	すぎかマイ・ノート活用講座累積参加者数				
算式					単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	1,400	-	-
	実績	1,043	1,076		
指標選定の理由	自立を考える高齢者の数として				
最終年度 目標の根拠					
指標名	見守り支援事業協力隊参加事業者数				
算式					単位 事業所
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	18	15	16
	実績	14	14		
指標選定の理由	高齢者を見守る施策のひとつとして数値化できるものである				
最終年度 目標の根拠	第八次須坂市老人福祉計画(平成30~32年度)				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		6,990	10,039
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	302	4,550
一般財源		6,688	5,489
人員数 (人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	2,144.7	2,144.7
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,144.7	2,144.7
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		9,134.7	12,183.7

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,150	講師謝礼8、後期高齢者健康増進実践者賞賜金1,142
11節 需用費	0	
13節 委託費	4,956	生活管理指導短期宿泊事業委託料655 マグネットシート等作成委託料41 後期高齢者健康増進事業委託料1,584 自立生活特別支援事業委託料2,676
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	884	借上等

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	2,024	講師謝礼24、後期高齢者健康増進実践者賞賜金2,000
11節 需用費	46	印刷製本費46
13節 委託費	4,152	生活管理指導短期宿泊事業委託料500 マグネットシート等作成委託料68 後期高齢者健康増進事業委託料1,584 自立生活特別支援事業委託 2,000
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,817	借上等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者等の健康づくり及び、要介護状態への進行の防止を図ることができる。 人生の最終ステージを自分らしく迎え、安心して生きがいを持って暮らせることができる。 地域の見守りに、民間事業者による「見守り支援事業協力隊」の協力を得ている。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者等の心身の健康づくりと介護予防につながる。 エンディングノートを活用することにより、自分に万一のことが起きた時に、家族や親族に自分の希望を伝えること等ができる。 安否確認、孤独死の防止に「見守り支援協力隊」の協力を得ている。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 「見守り支援協力隊」を14事業所と協定締結をしている。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

- 中央公民館と連携して、活用講座を3回開催した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
高齢者が増加していく中で、在宅で安心して生活できる支援と生きがい活動の支援は重要な施策である。		一人暮らし高齢者や病後の高齢者が、自立して地域で生活をするための支援事業として必要な事業である。 。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	